

専門教育科目

講義科目

授業科目名	テクニックに走らないファシリテーション	科目コード	配当年次	単位
担当教員	米井 隆	HJ01	1	2
<b>科目の概要</b>				
<p>話し合いの場面をうまく進めていくために必要な能力がファシリテーションです。また、話し合いをうまく進めていくための重要な役割を担うのがファシリテーターです。</p> <p>本科目では、ファシリテーションの必要性や意味、ファシリテーターの思考回路、ファシリテーターとして押さえておくべき基本技術等の知識習得を目指します。また、ファシリテーターとしての経験の場にはどのようなものがあるか、シーン別のファシリテーションのポイントは何かなど、実践に役立つ内容についても学習します。</p>				
<b>科目の到達目標</b>				
<p>①ファシリテーションの必要性や内容、磨くべきポイントについて説明できる。</p> <p>②様々な話し合いの場面によって押さえるべきポイントについて説明できる。</p>				
テキスト	『テクニックに走らないファシリテーション』米井 隆, 産業能率大学出版部, 2021年			
<b>テキストの読み方</b>				
<p>①ファシリテーションの必要性や意味について理解する。</p> <p>②ファシリテーターの思考回路を踏まえ、2つのセンスと3つのスタンスの意味について理解する。</p> <p>③ファシリテーターとして押さえておくべき基本技術を理解する。</p> <p>④ファシリテーションを磨くための経験の場には、どのようなものがあるかについて理解する。</p> <p>⑤様々なシーンに応じて、ファシリテーションを実践するためのポイントについて理解する。</p>				
<b>単位修得の方法</b>				
<p>①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p> <p>または、</p> <p>②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。</p>				